

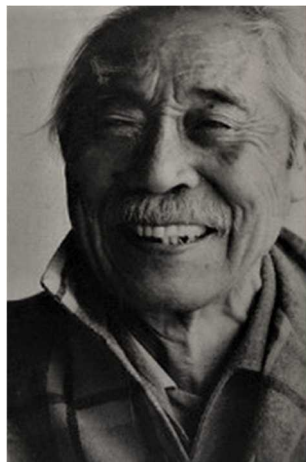
種蒔く人資料室へようこそ！ 第7回 小牧近江の生涯

雑誌『種蒔く人』発行の中心人物であった小牧近江は、昭和 53 年 10 月 29 日に 84 歳で亡くなりました。訃報を受けた金子洋文は「秋田魁新報」（昭和 53 年 11 月 1 日掲載）にて小牧の生涯を振り返り、盟友を偲びました。

（中略）小学校を卒業すると小牧は上京、父であり代議士近江谷栄次氏の東京富士見町の邸宅から、フランス人経営の暁星中学へ入学。私も上京し栄次代議士推薦で、芝・愛宕町の電営舎の小僧になる。主人の山本さんは、栄次代議士が、秋田では初めての発電所を土崎將軍野に設立したときの技師長だった。小牧の暁星中学時代と、私の電気屋時代は約二年間続いたが、日曜ごとに富士見町へ行って野球をやったり、「おももの」という回覧雑誌をつくったりしたが、この二年間の交わりがなかったら、七十六年の運命的な交友はなかったかも知れない。

小牧との七十六年の交わりにおいて、私は裏切ったか、どうかかわらんが、彼に裏切られたことは一度もなかった。彼の選んだ道は、輝かしい平和の大道であり、世界を覆うところの平和の倫理であった。凜々しいがやさしい、輝かしい生涯であった。

「秋田魁新報『小牧近江永眠』」より抜粋



↑ おだやかにほほえむ晩年の小牧近江。

（参考：金子洋文資料）

図書館職員のつぶやき

土崎図書館は今年 1 2 3 周年を迎えました。この記念の年に土崎にいる喜びをかみしめています。と言うのも、土崎図書館へ配属になったのは、今回で 3 度目。1 度目は 1 0 0 周年、2 度目は 1 2 0 周年、そして 3 度目が 1 2 3 周年を経験させてもらっています。このご縁に感謝しつつ、7 年後もここにいたいなあ…と思いながら、港祭りのお囃子が聞こえてくるのを楽しみにしている今日この頃です。（佐々木）

中央図書館明德館から異動して参りました坂本と申します。初めてご縁をいただく地域での勤務、知らないことばかりでドキドキわくわくしています。不慣れなことも多いですが、これから土崎図書館のことも北部地域のことも勉強して、利用者の皆さまのお役に立てるよう頑張って参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。（坂本）

今年度から市役所職員として採用になった藤原と申します。土崎図書館に来たことを機に、読書の習慣をつけていきたいと思います。カウンター業務や花壇の整備で利用者の皆さまと接する機会が多いと思いますので、気軽にお声がけいただけると幸いです。皆さまが快適にご利用いただけるよう精一杯頑張ります。

これからどうぞよろしくお願いいたします。（藤原）



土崎図書館 だより

令和 7 年度 第 2 号 2025 年 7 月発行

戦後 80 年 はまなすはみていたのです

土崎空襲から 80 年の節目に『はまなすはみた』『ビルマの豎琴』『なれのはて』などの朗読を通して、幅広い世代の方に空襲の記憶を語り継ぐことを目的とした催しです。この機会に、平和についてあらためて考えてみませんか。

日 時 令和 7 年 8 月 2 日（土）
1 3 時 3 0 分から 1 5 時まで
会 場 土崎みなと歴史伝承館 階段教室
出 演 土崎図書館朗読ボランティアはまなす
対 象 中学生以上
定 員 先着 5 0 名
参加料 無料
申込み 令和 7 年 7 月 1 0 日（木）午前 1 0 時より
カウンターまたは電話で受け付け



「戦後 8 0 年 はまなすはみていたのです」に合わせて、土崎図書館では関連展示を開催する予定です。こちらもどうぞご覧ください。

祝！創設 123 周年

1902（明治 35）年 6 月、南秋田郡立図書館として開館した土崎図書館は、今年で創設 123 周年を迎えました。これからも地域の皆様に愛される図書館として職員一同励んでまいります。このあとも市民文化講座や企画展示、図書館まつりなどさまざまなイベントを企画していますのでお楽しみに！

次号の図書館だよりから創設 123 周年にちなんだ新連載がスタートします。

7・8月の行事予定

7/26、27 小学生の選書体験
7/29 夏休み子ども講座
8/ 2 戦後 80 年 はまなすはみていたのです
8/ 5 夏休み調べもの講座

おはなし会○（まるっ）（第 3 木曜日）
おはなしの会 （第 1.3.4 土曜）
おりがみの会 （第 2 土曜）
対面朗読・テレフォンサービス（火・木曜）

新しく入った本（一般書）の紹介

担当：保坂

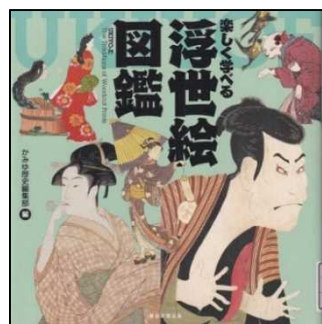
だます技術

小森 美武／〔ほか〕 著
技術評論社 368.6 円

ニュースでもよく話題になる「特殊詐欺」。2023年には2万件以上もの被害が確認されています。日々変化する手口から身を守るためには、どうしたらよいのでしょうか。本書では、具体的な例を見ながら、詐欺の仕組みや被害を防ぐ方法を紹介します。



楽しく学べる浮世絵図鑑



かみゆ歴史研究部／編
朝日新聞出版 721.8 円

「美人」「役者」「風景」など、230点以上の作品から江戸の出版、暮らしや流行を学ぶことができる1冊です。クスツとなるようなコメントや豆知識も盛りだくさん！
葛屋重三郎プロデュースの、東州斎写楽デビュー作28点を掲載した折込付録にも注目です。

団地メシ！

藤野 千夜／著
角川春樹事務所 F ジュノチ

高校になじめず、ずっと休んでいる花。ある日、母方の祖母から昔住んでいた団地に行こうと誘われました。そこから二人でいろいろな団地を巡り、おいしいものを楽しむようになり…。ゆっくりとした日々の中で、お互いを思いやり、小さな幸せを見つけていく祖母と孫の物語です。



おすすめ BOOKリスト

今回のテーマ

夏といえば、アイス

担当：近藤

- ① **日本アイスクロニクル**
アイスマン福留／著 辰巳出版 588 円
- ② **アイス一年中 天然生活ブックス**
地球丸 596 円
- ③ **ひんやりと、甘味 おいしい文藝**
阿川 佐和子／〔ほか〕 著 河出書房新社 914 円

新しく入った本（児童書）の紹介

担当：佐藤

くだもの らららん

金内 織恵／作
童心社 Eカ （赤ちゃんから）

葉っぱの中に、くだものが隠れているよ。どんなくだものかな？「とって とって」。思わず手を伸ばして触ってみたいくなりますね。植物画家の作者が描く色鮮やかで本物そっくりの絵は、赤ちゃんの初めての絵本にもおすすめです。



季節のざっそう探検帳

みづかな草花のひみつ！

飯田 猛／構成・文 亀田 龍吉／写真
技術評論社 47 円 （低学年から）



普段道ばたで何げなく目にしている雑草。いつの間にか勝手に生えているので邪魔者扱いされることがありますが、実はどれもちゃんと名前がついています。この本を読んで花が咲く時期や名前の由来などを知ると、毎日の通学も楽しくなるかもしれません。

ペンギンのトビオ

齊藤 倫 うきまる／作 嶽 まいこ／絵
偕成社 91 円 （低学年から）

こわがりのトビオは、心配で部屋をうろうろしています。生まれて初めて飛行機に乗って、旅に出ることになったからです。大きなトランクにたくさんの魚と氷を詰めて、お父さんとお母さんに見送られ、空港へ向かいます。どんな出会いが待っているのでしょうか。



夏の読書に、アイスにまつわる本はいかがでしょう。①は昭和から平成の名作・珍作アイスを年代順に紹介した1冊。ロングセラーがあれば、もう二度と食べられないものも載っています。皆さんの懐かしの一品も見つかるかも。さて、お店で買うアイスも良いですが、手作りのアイスもまた格別です。②は春夏秋冬、アイスが食べくなるレシピ本。夏はレモン、冬はカボチャのアイス等々、季節ごとに作りたくなるレシピが満載です。アイスを片手に読みたいのが③。41人の作家が書く、冷たい甘味をテーマにしたエッセイ集です。「あずきバー」「ガリガリ君」など様々なアイスが登場し、涼を感じられますよ。厳しい暑さが続きますが、アイスにまつわる本が楽しめるのも夏ならでは。この時期、ぜひお楽しみください。